

森と緑の会だより 2009 冬号

仁淀川上流・越知町黒森山で森-川-海をつなぐ水源の森づくりを実施

平成21年11月29日(日)、仁淀川漁業協同組合主催で180名が落葉広葉樹1600本を植樹しました。仁淀川のアユは年々減少。地元越知町、仁淀川流域交流会議(流域7市町村で構成)、当会が協力しました。(次頁へ)



▲皆伐地に、ブナ、トチノキ、ヒメシヤラ等10種類を1000本、コシアブラを600本、あわせて1600本を植樹しました。写真左上に仁淀川の流れが見えます。

子ども達を自然へ! 「森のようちえん」

指導者養成講座・親子体験 & フォーラムを2日にわたって開催

11月7日(土)、高知市鏡吉原の公民館とその近くの「稚児守の森(6月に完成)」を活用して指導者養成講座を行いました。関心のある親子の参加を得て、体験型の指導者養成講座を実施しました。

翌日の8日は四国森林管理局でフォーラムを開催しました(3頁目へ)。



「緑の募金」ありがとうございました

今年の「秋」期緑の募金へご寄附いただき、誠にありがとうございました。その中でも、多額のご寄附をいただいた方々を一部ご紹介いたします。

10月9日、株式会社双葉造園代表取締役の鬼頭慎一様が高知市本町の当会事務所にわざわざおいでいただき、事務局長に贈呈。

10月18日、土佐清水市で開催された土佐清水ライオンズクラブ結成45周年

記念例会の席上で会長吉名征郎様から事務局長へ贈呈。(土佐清水ライオンズクラブは、緑の募金公募事業を活用し、ツツジを植樹しています。)

また、溝淵義雄様から高額のご寄附金をいただきました。今後ともよろしくお願い申し上げます。



鬼頭様左から寄附



(前頁から)当日は、仁淀川漁業協同組合員、越知町横畠地区や国土交通省、四国電力、県、仁淀川流域市町村関係者、一般のボランティア等180名が参加。1時半ほどで苗木は全て植え終わりました。今回の植樹場所は24ヘクタールのうちの皆伐地1ヘクタールで、今後も継続的に植える予定です。仁淀川漁業協同組合から経費の相談を受けた当会では、森-川-海をつなぐ水源の森をつくる大切な事業であることから、共催という形であることから100万円を支援しました。



新婚カップル仲むつまじく桜を植樹

11月3日(火・祝)、「第10回三翠園ウエディングフォレスト」を開催。会場は2年目となる高知市鏡吉原です。今回は69組が植樹を希望し、当日は40組が参加し、力をあわせてセンダイヤザクラを丁寧に植えました。



▲植樹前の記念撮影(40組もの新婚さんに会場の空気はあつあつです)



▲慣れない山の斜面にちょっとへつぱり腰のようですが交替しながら植えました



▲赤ちゃんがお父さんの背中で見守っています

植樹の後は、婦人グループ「百日紅」の地元料理バイキングでお昼ご飯を楽しみ、午後は、ヒノキのマイ箸づくりに挑戦して一日を楽しく過ごしました。

やま・酪農・循環・森づくりを体験

9月26日(土)、高知市円行寺の「岡崎牧場」で、酪農と結びつけた森づくり体験を実施しました。

この牧場は、牧場主・鹿嶋利三郎さんが山の斜面を活かして乳牛を飼っています。まず、その牧場に生える芝以外の雑草等を刈りました。その後、記念植樹としてサクラやツツジなど30本を植え、その周りに、この牛糞



をたい肥にした物を土と混ぜ込み、樹木の養分にするという循環的な利用のしかたを学びました。

午後は牛とのふれあい。ほとんどの子どもが生きた牛を間近に見るのは初めて。ブラッシングや、聴診器で心臓の鼓動を聞いたり、エサやりをしました。最後に、ペットボトルでできる簡単バターづくり。できたバターは、さっき自分達が草を刈ったあの山(牧場)で育った牛の牛乳だと思えば、おいしさ倍増！でした。



※ この事業は「家畜たい肥需要拡大促進事業」として、財団法人全国競馬・畜産振興会畜産振興基金の助成を受けて実施しました。

森のようちえん。森で遊ぶ毎に、子ども達には発見があり、そこに体験があります。

(1頁目から)7日の講師は、昨年に引き続き北海道からの宮本英樹氏。体験親子も同時に募集したところ満員御礼で、高い関心が寄せられていることが分かりました。まず、森で近くの石を拾い、丸い囲炉裏を作って焼きイモ作り。その間に森を散策し、どんぐりを拾ったり、水場で水を汲んだり。まだ「はいはい」もできない子どもが落ち葉と戯れる場面も。遊歩道を1周する間に焼きイモは出来上がり。近頃、火を焚く機会は少なく、炎を間近にめくめくのイモをほおばる子ども達の目は輝いていました。締めは畑のユズを使った、「はちみつゆずジュース」を作り、ごくり。森の今の味を満喫しました。



▲左:裸足で落ち葉まみれになって遊ぶ。気持ちよさそう! /中:わき水だ! /右:午後の部養成講座

午後は午前中の体験をもとに、残ってくれた一部の親子からの感想も聞きながら、指導者養成講座を行いました。翌日は、その熱気を次へつなげるため、フォーラムを開催。多くの意見が出ました。あとはこれを県内各地に広げていく取り組みが大切だと思いました。



TOPICS① ■「森のようちえん」を2ヶ所で開催します

平成22年2月7日(日)にアジロ山(高知市朝倉アジロ)、2月28日(日)には、高知県立月見山こどもの森(香南市香我美町岸本)で予定しています。募集は年明けから。お問い合わせは当会事務局までよろしくお願いします。

応援します!地域の緑化活動に苗木を提供

当会では、緑の募金で緑化の苗木を提供しています。希望のあった梶原中学校3年生PTA行事(11月8日実施)に4樹種100本と、須崎市吾桑小学校5年生の吉田さん職場体験にニホンシヤクナゲ12本を提供しました。みなさんが丁寧に植えてくれました。



秋の「緑の募金」街頭活動実施

今年も、高知市都市緑化祭(10月10日~12日)にあわせて、秋の街頭募金活動を実施しました。

10日、帯屋町商店街など3ヶ所に分かれて、緑の募金をよびかけました。特に今回は、南国市立鳶ヶ池中学校からは6名もの生徒が参加。道行く人々に募金をよびかけました。



また、2日目は、よさこい鳴子踊りで4チームが緑の募金PRに協力。胸に緑の羽根を付けた踊り子さんのステージでの元気な踊りを楽しむお客さまから募金をいただきました。



四国森林管理局、高知県林業振興・環境部、高知県緑の協力員連絡協議会、高知県子ども会連合会緑の少年団、緑の募金公募事業団体(南国市立鳶ヶ池中学校、むろと2000本桜の会、高知子ども森林インストラクター会養成講座運営委員会、物部川21世紀の森と水の会、四万十樵塾、高知県緑サポーター会、四万十町興津浦分部落会)に協力いただきました。

また、「上町よさこい鳴子連(写真)」、「サポータージュ」、「桜(高知中央高等学校)」、「祭人衆~まっぴー~」の皆様が、ボランティアで緑の募金の景気づけも兼ねてよさこい踊りを披露してくれました。

各植木出展業者様、体験コーナー「土佐竹とんぼの会」から材料費収入、樹木医相談コーナーからも募金へのご協力をいただきました。皆様どうもありがとうございました。

物部川祭り・甫喜ヶ峰フェスティバル・高知もくもくランド 須崎市保育まつり(親子のふれあい大会)

秋の緑の募金期間では、各イベント会場に「緑の募金」展示コーナーを設置。また、すさき保育まつり(右写真)では、木のおもちゃを展示。子ども達がひっきりなしに遊んでいました。



セラピーロードで「こうち森のささやきツアー」

9月から森の文化・自然体験メニュー窓口サイトを開設。開設を記念し、10月16日(金)、「こうち森のささやきツアー」と名付けて津野町の「天狗高原森林セラピー」を訪れました。森林セラピーへの関心は高く、20名の参加者枠はすぐいっぱい！

みんなで高知の森で体験しよう！(「こうち森のささやき」で検索するとヒットします。)



TOPICS②

■ 間伐材を使ったミニ門松づくり

今年もお世話になりました。

来年のお正月を飾るミニ門松づくりを、12月26日(土)、サニーマート高岡店(土佐市高岡町甲)で行います。(①10:30～、②13:00～、③14:30～に分けて実施。各10人募集)

■ 徳島県で初開催！三嶺一剣山系食害問題は両県共通。「三嶺の森をまもるみんなの会」報告会

平成22年1月24日(日)13:15～16:00
・アスティとくしま(徳島市山城町東傍示1)

■ 公益社団法人高知県森と緑の会設立総会ほか

公益社団法人に移行したことに伴い、設立総会を平成21年9月29日に開催しました。また、毎年定期的に都道府県緑化推進委員会が集まる中国四国地区連絡会議が11月12日に岡山県で、全国の連絡会が12月10日に東京都「九段会館」で開催され、出席しました。

日常の暮らしの中から森づくり

■ NCB緑の募金カード

環境貢献型カード。これでふつうにお買い物するだけで緑に。入会金・年会費無料。

■ ほっと一息！森づくり！ ～「緑の募金」自動販売機～

同じ飲むなら「緑の募金」自動販売機。対象販売機には、緑の募金の標識がされています。協力企業は下記の3社です。

- ・ガイドードリンコ
- ・四国キャンティーン(コカ・コーラ系列)
- ・岸田サービス(サントリー・アサヒ・ポッカ・大塚薬・ネスレ)

■ ハーティカードで森づくり！

たったのポイントで気軽にご寄付。サニーマート全店舗設置のハーティポイント交換機で、「緑の募金」ボタンをチョイス！

仁井田自慢の「桜並木」よ、よみがえれ！

町長・地域も力をあわせて。四万十町JR「仁井田駅」桜の治療。

有名だった駅の周囲の桜並木も、ここ最近テングス病がはびこり、木の元気がどんどんなくなっていました。地元の皆さんも心を痛めていたので、11月22日(日)、須崎緑と水の会(池田十三生代表)と地元住民と27名が、日本樹木医会濱田吉成高知県支部長の指導で桜の治療を行いました。前田哲生町長も自ら木に登り、テングス病の特徴である鳥の巣状の部分の部分を切って防腐剤を塗りました。除いた枝でトラックはみるみるいっぱい。何度か焼却場に運びました。

全ての木が冒されていたため、午前の作業だけで全部を取り除くのはとても不可能でしたが、除去を終えた木はさっぱりし、同時に草刈等整備もしたので広場全体がすっきりとなりました。



▲高所作業車2台で高いところを、低いところは木に登ったりハシゴをかけたりして除去作業をしました。女性やお年寄りも切除された枝を協力してトラックに乗せるなど手際よく作業が進みました。

※この治療作業は、当会の「緑と水の森林基金事業」として経費を助成しています、この後、年内に2回、国道381号線(立目～秋丸間)と四万十町神山町改善センターの桜並木の木を治療します。

巨樹・古木 No.11 小村神社の「燈明杉」(高岡郡日高村)

この杉は、下枝部は杉葉だが中程より上部はボタンスギ型の葉を持つ、稀に見る珍しい杉である。伝説によると、宝永2年7月の仁淀川大氾濫の夜、また安政元年大地震の前夜等、何らかの異変のある時にはこの大樹の梢に霊火が爛々と灯ったと言い伝えられ、里人はご神木として崇拝している。

胸高直径270cm、樹高25m、樹齢推定1千年(伝承)。



森と緑の会の前身、「高知県緑化推進委員会」の時に県内各地の巨樹に看板が立てられました。10年以上経った今、再びそれらの木に会いに行き特集しています。



・緑の募金に関するお問い合わせ
・緑の募金事業に関するお問い合わせ

当会は特定公益増進法人に該当します

【緑の募金】に協力いただきますと特定寄附金として税制上の優遇措置が受けられます。

公益社団法人 高知県森と緑の会
〒780-0870

高知市本町5丁目1番50号 中沢ビル4F
TEL:088-855-3905 FAX:088-855-3906
E-mail info@moritomidori.com
ホームページ http://www.moritomidori.com/